

横浜みどりアップ計画「地産地消の推進」



「地産地消ビジネス創出支援事業」 育成講座の受講者募集と説明会を行います

「横浜産の食材を使った銘産品、お土産を作りたい。」「市内産農畜産物を活用して横浜市の地産地消に貢献したい。」など、地産地消に関するビジネスの事業化を支援する「地産地消ビジネス創出支援事業」を実施します。

本事業は「育成プログラム」（1年目）と「補助プログラム」（2年目）の2つのプログラムから構成されており、このたび、29年度における「育成講座」（育成プログラム）の募集及び、募集に向けた「事前説明会」を行いますので、お知らせします。

1 「事前説明会」の開催について

育成講座の募集に先立ち、地産地消ビジネス事業の概要や支援の内容等に関する説明会を開催します。

- (1) 開催日時 平成 29 年 11 月 14 日（火）18:30～20:00
- (2) 場 所 横浜市開港記念会館 6号室（横浜市中区本町 1-6）
（JR 関内駅から徒歩 10 分、みなとみらい線日本大通駅から徒歩 1 分）
- (3) 申込方法 11 月 10 日（金）までに、電話、FAX または Eメールで申込
- (4) 申込・問合せ先 横浜市 環境創造局 農業振興課
〒231-0017 横浜市中区港町 1-1
TEL : 045-671-2639 FAX:045-664-4425
E-mail : ks-tisantisho-news@city.yokohama.jp

2 「育成講座」受講者の募集について

ビジネスプランのブラッシュアップを支援する育成講座（全 6 回、平成 30 年 1～2 月）の受講者を募集します。

※育成講座終了後、平成 30 年 3 月 10 日（土）に実施する審査会で補助プログラム（2 年目）の対象事業を選定します。

- (1) 募集対象 地産地消に携わるビジネスへの参入、新規創業を考えている事業者、新規創業者、中小企業および NPO 法人
- (2) 募集期間 平成 29 年 11 月 14 日（火）から 12 月 15 日（金）まで（必着）
※受講決定通知の発送は平成 30 年 1 月 4 日頃を予定しています。
- (3) 募集人数 15 名（応募多数の場合は選考を行います）
- (4) 応募方法 指定の書類を郵送、持参または Eメールにて提出
（応募先は「1（4）申込・問合せ先」参照）
- (5) 応募に必要な提出書類 ①申込書（第 1 号様式）
②事業計画の概要書（第 3 号様式）
③定款または規約等（法人等の場合）

※提出書類は横浜市のホームページ（裏面参照）からダウンロードできます。
できない場合は、お問合せ先にご連絡ください。

※横浜農場：横浜市では、意欲的な生産者や多彩な農畜産物、農景観など、身近に魅力ある農が存在する横浜を「横浜農場」として PR しています。



【参考１】地産地消ビジネス創出支援事業のプログラムについて

- ・育成プログラム（１年目）では、事業者の皆様が考えるプランを６次産業や創業支援の専門家たちが、持続可能な事業展開が行えるようプラン作りのお手伝いをします。
- ・補助プログラム（２年目）では、育成プログラムにおける審査会で高い評価が得られたプランに対し、事業開始にかかる初期費用の一部を補助するほか、専門家による起業相談等の支援も行います。

＜地産地消ビジネス創出支援事業に関するページ＞

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/nousan/tisantisyu/torikumi/business-sousyutu.html>

※各回の講座内容、講師のプロフィール、支援対象となるビジネスプランの要件、ビジネスプランを提出できる事業者の要件等の詳細は、横浜市のホームページをご覧ください。

【参考２】平成 29 年度 地産地消ビジネス補助対象事業（平成 28 年度に選定）

平成28年度の育成プログラムで、育成講座を受講した事業者の中から、以下の５件のビジネスプランを補助プログラム対象に選定しました。現在、事業展開にむけて支援を実施しています。

事業名	受講者	事業内容	
ブルーベリーの葉を使用したお茶関連商品の開発	金子 明美	自家栽培のブルーベリーを使用した、日本初の葉茶作り体験教室と葉茶関連商品の製造・販売。	
農家の食卓プロジェクト	小間 一貴	農家の食卓にある、お母さんが作ってくれた素朴な味をコンセプトに自家栽培の完熟素材のみを使った、無添加、手作り商品の製造・販売。	
横浜の農作物とナッツを使用した新たな観光土産の開発	坂本 奈緒子	ナッツと横浜で生産された農作物を使用した、新たな横浜土産の開発・販売。	
生産者と消費者がつながる『まちなかワイナリー』を横浜につくる	町田 佳子	国産果実原料のみを使用したワインを横浜の町中で、製造・販売。	
横浜野菜を使った野菜マフィングルトの開発と販売	水島 綾子	横浜野菜を使った野菜マフィンと野菜スコーンのギフトセットの開発・販売。	

お問合せ先

環境創造局農業振興課長

近藤 元子

TEL : 045-671-2606

地元食材で新ビジネスを切り拓く

平成29年度 地産地消ビジネス 創出支援事業のご紹介

… ようこそ 横浜農場へ …

横浜市は、横浜みどりアップ計画に基づき、地産地消活動のビジネスに取り組む事業者及び新規創業者を応援します。

ビジネスプランの策定に向け、6次産業化のコンサルタントやベンチャービジネス等のプロフェッショナルが、全6回の講座を通して個別のサポートを行います。審査により選ばれたプランに対しては、事業費の一部を補助します。

横浜の農を生かした新たなブランドづくりをしたい。

横浜の食材を使った銘産品、お土産を作りたい。

市内産農畜産物の加工・販売の事業をしたい。

そうした意欲をお持ちの方には絶好の機会です。ふるってお申し込みください。



事前説明会 育成プログラムの募集に先立ち、説明会を開催します。

日時 平成29年11月14日(火) 18:30～20:00(開場18:00)

場所 横浜市開港記念会館 6号室

申込方法 11月10日(金)までに電話、FAXまたはE-mailでお申し込みください。

申込・問合せ先

横浜市環境創造局農業振興課 **ビジネス担当**

〒231-0017 横浜市中区港町 1-1

TEL 045-671-2639 FAX 045-664-4425

E-mail ks-tisantisho-news@city.yokohama.jp



●本事業の詳細は横浜市のホームページをご覧ください。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/nousan/tisantisho/torikumi/business-sousyutu.html>

横浜 地産地消ビジネス

検索

事業概略

「地産地消ビジネス創出支援事業」には「育成プログラム」と「補助プログラム」の2つのプログラムがあります。

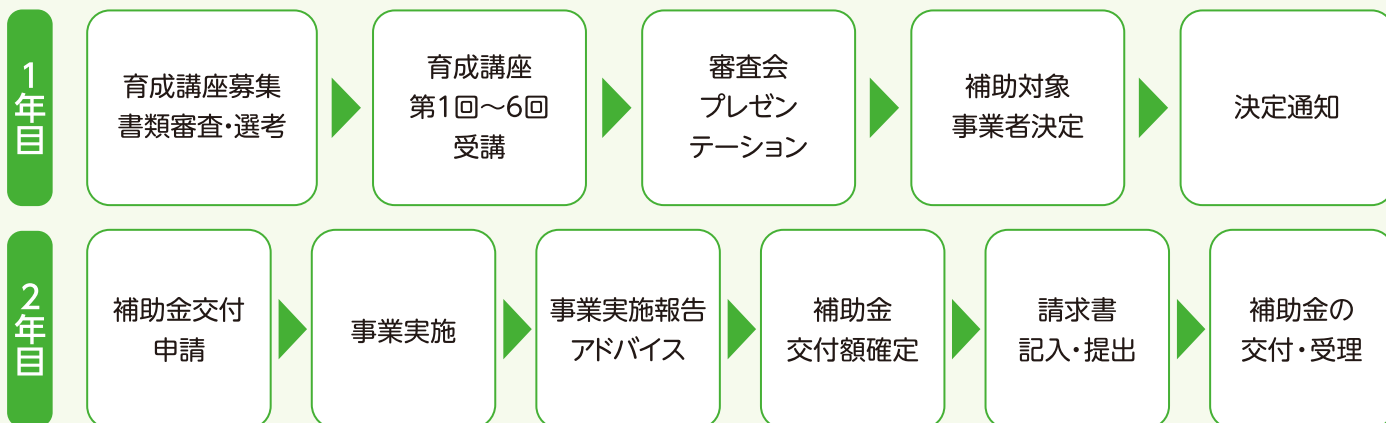
「育成プログラム」は平成30年1月から2月にかけて開催する全6回の「育成講座」により、地産地消に携わるビジネスを実施したい事業者、新規創業者等のビジネスプランのブラッシュアップを、各方面の事業プランナーがお手伝いします。

「補助プログラム」では、講座の終了後に開催される審査会で選定されたビジネスプランに対し、事業開始に係る一部の経費を補助する他、専門家による事業相談等の支援も実施します。

事業の流れは以下の表をご覧ください。



●事業の流れ



育成講座について

育成講座の募集期間 平成29年11月14日(火)～平成29年12月15日(金) 必着

受講決定の通知発送 平成30年1月4日頃を予定しています。

- 受講に当たっては、応募時に「事業計画書」等、市の定めた必要書類を提出していただきます。
- 受講の定員は15名を予定しています。応募多数の場合は、ご提出いただいた書類の審査・選考によって受講者を決定します。
- ご提出いただいたビジネスプランの実現性の向上を、全6回の講座の受講によってサポートします。
- 審査会では、育成講座により実現性が向上したビジネスプランを、専門家の前でプレゼンテーション形式で発表していただきます。
- 審査会により選出されたビジネスプランに対しては、翌年度に事業開始にかかる初期費用の一部の補助、専門家による事業相談等の支援を実施します。



育成プログラム



ビジネスプランを提出できる事業者の要件

次の各号を全て満たすものとします。

- ① 地産地消ビジネスに取り組む意欲があり、全講座の受講及び審査会への参加が可能な方。
- ② 市内に事務所等を有し、市内で活動を展開しているもしくはこれから活動を開始する中小企業、特定非営利活動法人および新規創業者。
- ③ 横浜の農業・農畜産物のPRや地産地消に寄与する事業に自主的に取り組む方。
- ④ 次年度以降も継続して活動する見込みのある方。
- ⑤ 市税を滞納していない方。

支援対象となるビジネスプランの要件

- ① 市内産農畜産物の消費拡大に寄与するもの
- ② 消費者に市内産農畜産物を積極的に提供するもの
- ③ 市内産農畜産物を活用した加工品の開発など、付加価値を増大させるもの
- ④ その他、市内の地産地消に寄与するもの

育成講座 スケジュール

定員

15名(応募者多数の場合は書類審査にて選考になります)

場所

横浜市開港記念会館 7号室

※審査会のみ関内中央ビル3A会議室で行います。

全6回
連続受講

育成講座の日程と各回の講師プロフィールは以下の通りです。

第1回	1/17(水) 18:30~21:00	事業計画の作成を見据えた基本コンセプト作り 事業を通して描く未来を明確にし、やりたいことを事業計画へまとめる方法を解説します。 商品や顧客に提供する価値、差別化のポイント、販売先など事業の全体をとらえましょう。
第2回	1/24(水) 18:30~21:00	事業計画の作成〈収支計画・資金計画〉 事業に必要な費用を洗い出し、必要資金を把握しましょう。 付加価値の向上、差別化による選ばれる理由作りなど、収益力向上のポイントを解説します。
第3回	1/31(水) 18:30~21:00	事業計画のブラッシュアップ それでは、事業計画を基にミニプレゼンを行いましょう。 市場性、実現可能性、収益性の視点からブラッシュアップしていきましょう。
第4回	2/7(水) 18:30~21:00	先輩企業家の事例紹介 先輩企業家の事例から成功ポイントや留意点を学びます。また、今までの講義内容を消化し、自身の計画に対して具体的な取組イメージを持つようにしましょう。
第5回	2/14(水) 18:30~21:00	プレゼンテーション講座 ～あなたの事業の魅力を3つにまとめてください～ プレゼンテーションにはコツがあります。 限られた時間で効果的に事業内容を伝えるコツを解説します。
第6回	2/21(水) 18:30~21:00	ビジネスプラン発表会 事業計画をプレゼンテーションします。審査会に向けて、事業計画の内容も含めてブラッシュアップするポイントを個別に解説します。
審査会	3/10(土) 14:00~18:00	補助プログラム対象選定審査会 場所 関内中央ビル3A会議室(横浜市中区真砂町2-22)



講師プロフィール



湯浅 孝司

株式会社
コンサルート
企画推進/取締役

事業計画の作成(収支計画・資金計画作成) 事業計画をブラッシュアップする

平成24～29年度神奈川県6次産業化サポートセンター企画推進員に従事。県内農林漁業者からの6次産業や新規事業のコンサルティングや、地域名産品・観光体験づくり、地産地消商談会の企画運営などエリア活性化を行う。また、地域性を活かした大手企業の集客プロモーション、セミナー/研修プロデュース等、活動は多岐にわたる。



野竿 達彦

株式会社
Y-プロデュース
代表取締役

プレゼンテーション手法を学ぶ

銀行、求人広告の営業マン、商工会議所勤務を経て、2007年横浜市創業支援・成長促進事業横浜ベンチャーポート所長に就任。2010年横浜にて創業。圧倒的な強み(PS)コンサルティング、見せるだけで注文が入る広告ツールの制作、セミナー講師などの事業を開始。内閣府 社会的企業育成支援事業 iSB公共未来塾社会起業プランアドバイザー、内閣府 新しい公共支援事業 YSBスクールプロデューサー兼専任講師。東京都品川区立武蔵小山創業支援センタークリエイティブマネージャー。横浜ビジネスグランプリ2009、2010、2012、2014～2016プロデュース&ファイナリストプレゼン講師。荒川区ビジネスプランコンテスト2016、中野区ビジネスプランコンテスト2017、2018プロデュース&ファイナリストプレゼン講師。



石井 瑠美

株式会社コンサルート
企画推進担当、
中小企業診断士

基本コンセプト作り 事業計画をブラッシュアップする

平成28・29年度、神奈川県6次産業化サポートセンター企画推進員。
生産者と飲食店の交流会や商談会等の企画運営業務、その他県内農林漁業者からの相談や、農林漁業関連の調査事業に数多く対応している。ファシリテーションを用いたワークショップ等の場づくりや、課題解決等を得意とする。神奈川県を中心に地域活性化のためのプラットフォーム作りに注力している。

補助プログラムについて

- 補助プログラム対象選定審査会で選定された事業者には、計画した事業の実施後に事業開始初期経費の一部を補助します。
- 補助決定通知後、提出したビジネスプランに沿った事業を、通知を受けた日から3か月以内に開始してください。
- 事業開始後、中間報告会等を実施。補助申請した内容の完了報告後、請求書受理後に事業開始にかかった初期費用の一部を補助します。



参考 平成29年度の補助プログラム対象事業

平成28年度に育成講座を受講し、補助プログラムに選定された5事業が現在、事業展開にむけて活動中です。

事業名	実施者	事業内容
ブルーベリーの葉を使用したお茶関連商品の開発	金子 明美	自家栽培のブルーベリーを使用した、日本初の葉茶作り体験教室と葉茶関連商品の製造・販売。 
農家の食卓プロジェクト	小間 一貴	農家の食卓にある、お母さんが作ってくれた素朴な味をコンセプトに自家栽培の完熟素材のみを使った、無添加、手作り商品の製造・販売。 
横浜の農作物とナッツを使用した新たな観光土産の開発	坂本 奈緒子	ナッツと横浜で生産された農作物を使用した、新たな横浜土産の開発・販売。 
生産者と消費者がつながる『まちなかワイナリー』を横浜につくる	町田 佳子	国産果実原料のみを使用したワインを横浜の町中で、製造・販売。 
横浜野菜を使った野菜マフィンギフトの開発と販売	水島 綾子	横浜野菜を使った野菜マフィンと野菜スコーンのギフトセットの開発・販売。 

●横浜農場とは

意欲的な生産者や多彩な農畜産物、農景観など、身近に魅力ある農が存在する横浜を農場に見立て、「横浜農場」というキャッチフレーズでPRするものです。



●横浜みどりアップ計画

横浜市は、「緑豊かな横浜を次世代に」引き継ぐため、平成21年度から「横浜みどりアップ計画」に基づき緑の減少に歯止めをかける取組や、市街地における緑の創出を進めています。

